

# 通信市場

JJ1GUW

2005年春（日本で桜満開の頃）北京に買い物に行きました。長年ためたマイルを使い航空券をGETしました（仕事なしの休暇です）。

北京の中心部から少し離れたIT街の入口にほど近いホテルを予約しました。このホテルが通信市場から徒歩5分圏内。市場はちょうど秋葉原ガード下の様な感じで店が並んでいます。3階建てのビルで一階は移動体通信機器（携帯電話関連）、2階、3階が無線機器関連の店構えとなっています（業務、アマ、軍？）。

店自体の商品陳列は極めて少なくパラパラと展示している程度です（日本の無線機屋さんとはかけ離れている）。商品の現物確認させてくれと言うと一度、店から出てどこからか持ってきました（共同の倉庫??）

現物で動作確認を済ませ、そのものをもって帰ります。中国でのポイントはどんな商品購入をする場合でも、自分が現物確認をしたやつを自分の責任で持ち帰らないと、意図しないものが入っていることがあります（スーパーで買い物時はその場でレシート確認を行う）。

ぶらぶらと店を見ていると携帯電話を修理している店がありました。なんと修理技術者は小学校高学年くらいにしか見えない少年です。坊主頭で半田ゴテを持ち、テスタらしきものを見ながらゴソゴソと何かやっています。携帯電話機をバラバラにして組み上げるのは何度か見たことはありましたが、子供がやっているのは始めて見てびっくり！

彼らから話を聞くと当然、理論は知らないが「経験値」で修理するそうです。自分では手に負えないと、先輩（親兄弟）に回すそうです。複数の携帯電話を部品として解体して、動作可能な1台を組み上げ、中国国内の中古市場に出すそうです。日本の場合は携帯電話本体が安く、その代わり高額な使用契約をさせられます。

中国（大連）新品本体が20,000～中古で7,000～こんな感じかなあ。必要に応じた通信費用をプリペイドカードで支払う。

小局が無線に興味を持ったのは小学生の頃で、色々と破壊したことを思い出し、またアマの原点は理論でなく「実験」による経験値の蓄積だと思ひ起こしました。

- ・「自分にはできない、と言ってやらない」 → 知識がない事を武器にする
  - ・「よく考えた結果、やらない」 → 失敗すると自分が傷つくから
- が多くありませんか？最初は誰かの真似からでいいじゃないですか？

税関関連ですが「中国現地の旅行代理店」によると無線機はオーディオ機器扱いなのでOKとのことでした（無事帰国）。いまさらながら、詳しいOM解説 願えませんか？